

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その1

議員名	件名	要旨
1 政時 喜久美	1. 道の駅について (町長)	① 農地買収は終わっているのか。 ② 建設の予算はどれくらいか。 ③ 発掘調査をしているようだが、農家が田植えができなくて困っているが保証はしているのか。 ④ 道の駅に川崎町独自の農産物を道の駅ができるまでに農家さんと話し合っ、川崎町独自の物を作るのに今からチームを立ち上げてはどうか。他の町にないような道の駅を作ってほしいけど、町としてはどう考えているのか。
	2. 公園を西田原に オートキャンプ場 (町長)	① 西田原につくってほしいと地元から要望がある。
	3. 中元寺川に鮎の放 流をしてほしい (町長)	① 地元から要望がある。
	4. 田川郡東部環境衛 生施設組合につい てお尋ねしたい (町長)	① 会計監査が4000万円近くのお金を返還してくれということだが、川崎町も組合全体として返還しないとイケないのか。 ② なぜ、監査が返還を求めてきたのか説明してほしい。
2 繁永 英樹	1. 町民への正しい情 報発信について	① 広報かわさき（令和5年3月号）の表記内容。詳しい説明が必要だと思われる部分について、町民の知る権利の立場から伺いたい。
3 松岡 久代	1. 小学校の統合につ いて	① 近年の出生数の低下、子どもたちにとっての学び舎がこれでいいのかを尋ねる。
	2. 自転車のヘルメッ ト装備着用の普及 について	① 休日の目の行き届かないところでのヘルメット装備着用の生徒指導について尋ねる。
4 中山 信和	1. 今の川崎町におい ての行政区組織の 現状と改革につい て問う	① この数年の川崎町の各行政区の運営について、区長のなり手がいない、組長のなり手がいない、区費や組費の集金が思うようにいかない、加えて住民の中で区に入らない世帯がかなりある等いろいろと問題が起こっている。

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その2

議員名	件名	要旨
4 中山 信和	1. 今の川崎町における行政区組織の現状と改革について問う	<p>② 今の多くの自治体の地域運営、コミュニティの根幹をなしている行政区制度が崩れつつあるのではないかと問う。</p> <p>③ これからの地域運営、コミュニティの維持について、昨年10月に総務委員会で研修視察を行った北海道美唄市での「集落支援員制度」などを使って、行政区制度にこだわらない新しい方法は考えられないかと問う。</p>
5 寺田 響	1. 農業施策について	<p>① 食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）では、「荒廃農地の発生防止・解消等について、多面的機能支払制度及び中山間地域等直接支払制度による地域・集落における今後の農地利用に係る話合いの促進や共同活動の支援、鳥獣被害対策による農作物被害の軽減、農地中間管理事業による農地の集積・集約化の促進、基盤整備の効果的な活用等による荒廃農地の発生防止・解消に向けた対策を戦略的に進める。」とされています。耕作が行われていない土地を再生し利用するため、国からの助成金「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」等ありますが、荒廃農地の発生防止・解消等について本町の施策を問う。</p> <p>② シカやイノシシなどの野生動物から農作物を守るための本町のとりくみの進捗状況や今後の課題について問う。</p> <p>（以下川崎町鳥獣被害防止計画より引用）</p> <p><b>（5）今後の取り組み方針</b></p> <p>銃の駆除に関しては、川崎町内における駆除員の高齢化及び減少に対処するため、近隣市町村と連携を図り広域的な駆除の出来る駆除隊の編成を模索する。</p> <p>シカについては、林業関係者、農家に効果的防除の指導を行ない、新たにワナによる捕獲も模索する。</p> <p>イノシシのワナ捕獲については、各被害地域にワナ設置責任者を育成し、各行政区長の要望に応じて、地域ワナ設置責任者と連携を図り地域における被害対策体制を確立する。</p> <p>また、ワナ設置責任者が中心となり、効果的な被害防除及びワナ設置者の育成・指導に努める。</p> <p>早々、拡大が予想されるアラユグマについては、電気柵・捕獲用箱ワナで対策を講じる。</p> <p>また、各地域に餌付の効果のある放任果樹の伐採、出荷後の放置野菜等の適正処理等を指導する。</p> <p>捕獲後の食用獣については、解体・加工処理技術の向上のため、研修会等を開催する。</p> <p>また、獣肉については、自家消費だけでなく、一般消費者に流通できるよう加工場等の設置も視野にいれ検討する。</p>

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その3

議員名	件名	要旨
5 寺田 響	2. 教育施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、2020年3月以降に全国各地の小中高校が臨時休校となった。現場では臨時休校に対して十分な準備が整わなかった学校も多く、子どもの教育の多くが家庭に委ねられる結果となった。自宅での学習は家庭環境に大きく依存するため、新型コロナによって教育格差が拡大した可能性が考えられる。休校などで遅れた学習を取り戻そうと、全国各地でさまざまな取り組みが行われているが本町の取り組みを問う。</p>
6 櫻井 英夫	1. リボン川崎町のPDCAについて (町長)	<p>① 川崎町総合計画6つの重点プロジェクトとして、1. 学力を県平均に向上、2. 健康寿命の延伸、3. 新規就農支援と組織形成、4. 交流拠点「道の駅」整備、5. 移住の促進、6. スポーツ交流の促進を掲げ3年が経過した。不測のコロナ禍にも見舞われ施策遂行に支障もあったが、これらプロジェクトの進捗状況、今後の見通し、改善や強化策について尋ねる。</p> <p>② 地方経済振興のためには財政出動が不可欠であり、公共投資が有効なのは間違いないが、これが民間活力に波及してこそ成果が期待できる。企業誘致や地場産業の育成こそがリボンの肝と考えるが、この分野の成果・分析はどうなっているか。</p> <p>③ 遊休財産の活用促進がリボン川崎につながると確信するが、総合計画ではほとんど言及されていないので見解を尋ねる。</p> <p>④ 田川地区を訪れる方は北九州方面からが多いように思われるが、川崎町と北九州市との結び付き強化の政策推進を提案する。町長の見解を尋ねる。</p>

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その4

議員名	件名	要旨
<p>6 櫻井 英夫</p>	<p>2. 情操教育の取り組みについて (教育長)</p> <p>※ウェルビーイングとは、幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態をいう。</p>	<p>① 国の教育振興基本計画を踏まえた本町の基本計画策定スケジュールと、政策の基本方針ウェルビーイングの概念はどんな内容か。</p> <p>② 先の小中学校入学、卒業式は昔と違って劇的に清々しいものに映った。また、この頃は荒れる学校、荒れる成人式のニュースも聞かない。教育基本法改正の成果か。その背景、要因を尋ねる。</p> <p>③ 教育の三要素は古来より知徳体と言われるが、武道の世界では心技体とも表現される。徳と心はほぼ同義であるが、徳育教育を推進するにあたり、本町にはどのようなプログラムがあるのか。</p>
<p>7 樋口 秀隆</p>	<p>1. 限界集落対策について様々な行政支援の導入、および活用の計画について問う。</p> <p>2. 防災無線放送の問題点とより良い方法について問う。</p>	<p>① 消滅自治体と目され、限界集落を抱えている本町では早急に何らかの手を打つべき時期に来ているのは数年前からの課題である。昨年10月に研修視察を行った、北海道美唄市での「集落支援員制度」は専任集落支援員、兼任集落支援員ともに、本町においても多いに有効で期待の出来るものであった。その後、幾多の困難と課題に有効な内容で大いに参考になる内容で参考例を三つの常任委員会から数多く執行部に伝えてきた。しかしながらその案件が行政運営に十分に反映されているかといえば、そうでないと感じている。そこで①「集落の放置空き家対策として固定資産税の減免」②「集落支援員制度の導入」③「集落への移住手当の増額」④「集落住宅へのリフォーム手当の増額」⑤「地産の木材を使用した場合の手当支給」を考えて欲しい。</p> <p>① 放送内容の有意義性については認めているが一部の地域場所で「必要最小限の内容を選択して放送してもらいたい」との声も聞く。昨年の予算決算委員会で対応を求めたがその後どう対応したのか。</p>

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その5

議員名	件名	要旨
8 千葉 加代子	1. ふれあいバスの運行等について	① 現在の1カ月平均の利用者と運賃収入は。 ② 定期券の発行の要望がありますが、実施できますか。 ③ デマンド型に移行することは検討されていますか。
	2. 廃校の現状と今後の計画は	① 廃校になった校舎の現状は。 ② 黒板アートの要望がでていますが、可能ですか。
	3. 車いす利用者の住宅環境等について	① 車いすに十分に対応できる住宅の戸数は。 ② 車いすでの生活を余儀なくされた場合、町として今後どのような対策を取りますか。
	4. 子どもの事故防止について	① 離乳食時の窒息事故の防止。 ② 校庭の釘で大けがをしたケースがあるが、本町の状況は。 ③ ゴールポストの固定。
9 手嶋 真由美	1. 高齢者見守り対策について	① 本町の高齢者向け緊急通報装置について、改善点と現状は。 ② 申請条件については、緩和も含めどこまで検討されたのか。 ③ 見守り対策の充実を図るための事業は考えているか。 ④ 田川市添田町で試験的に行われているクロネコ見守りサービス「ハローライト訪問プラン」本町でも試験的に実施してみてもどうか。
	2. 飼い主のいない猫への取り組みについて	① 令和5年度あすなろ猫事業の一次申し込みが5月15日で終了したが、申し込み状況は。 ② 県内60市町村の中には、飼い主のいない猫対策のため、地域猫を対象とした保護活動をする人や団体の支援として補助金を出している自治体が12ある。本町でも支援できないか。 ③ さくらねこ無料不妊手術事業の展開についてその後検討をしたか。

令和5年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その6

議員名	件名	要旨
<p>9 手嶋 真由美</p>	<p>3. 熱中症対策について</p>	<p>① 熱中症から住民の命を守るための取り組みとして熱中症対応マニュアル等の作成やWBGT（暑さ指数）の認知度向上など情報発信も必要かと考えるが見解は。</p> <p>② 高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取り組みは考えているか。</p> <p>③ 子どもの熱中症防止の取り組みは。</p> <p>④ 子どもたちの通学時の熱中症予防対策は考えているか。</p>
	<p>4. 選挙の投票について</p>	<p>① 選挙権があっても投票行動に参加できない人のため「選挙（投票）支援カード」の導入ができないか。</p>
	<p>5. 子育て環境の充実について</p>	<p>① 政府は、小中学校の給食費をめぐっては無償化を目指す考えを明らかにしたが、本町としての考えは。</p>